

## 「サクラフェスティバル 2023」（デンマーク・コペンハーゲン）出展レポート

|        |   |
|--------|---|
| イベント名  | コペンハーゲンサクラフェスティバル<br>(Copenhagen Sakura Festival)                   |
| 日時     | 2023年4月22日(土)、23日(日)  |
| 場所     | デンマーク・コペンハーゲン ランゲリニー公園  |
| 主催者    | コペンハーゲンサクラフェスティバル実行委員会  |
| 参加者数   | 非公開   |
| ホームページ | <a href="https://sakurafestival.dk/">https://sakurafestival.dk/</a> |

### 1 イベント概要

#### ★デンマーク・コペンハーゲン

コペンハーゲンはデンマークの首都で、人口約66万人を擁するデンマーク最大の都市です。デンマークには81社の日本企業が進出しており、在留邦人数は1,500名を超えます。

#### ★サクラフェスティバルとは

サクラフェスティバルは、デンマークにゆかりの深い日本企業が200本の桜の木をコペンハーゲン市に寄贈したことをきっかけに、2008年から始まりました。パフォーマーを含め、ボランティアベースで運営されている祭りで、出展団体のほとんどがデンマーク人主体でパフォーマンスを実施しています。会場であるランゲリニー公園は、春になると満開の美しいソメイヨシノで彩られます。

コロナ禍のため2020年・2021年はオンラインでの開催となりましたが、昨年に引き続き実地開催された今回は、日本文化に直接に触れることを心待ちにしていた多数の来場者があり、和装やアニメ等のキャラクターの衣装に身を包んだ来場者も数多く訪れ、会場は大いに盛り上がりました。会場内のステージでは、和太鼓や三味線の演奏、居合道や空手などの演武、着物ファッションショーなどが行われたほか、生け花、茶道、折り紙など様々な日本文化が体験できるブースが設けられました。ステージ前の芝生では多くの人々がレジャーシートを敷いてお花見をしており、快晴だった初日は足の踏み場もないほどの盛況ぶりでした。



## ★サクラフェスティバルの来場者

日本のポップカルチャーに関心を持つ若者、訪日旅行を計画中の家族連れ、日本の伝統文化に興味があるお年寄りなど幅広い層のお客さんが会場を埋め尽くすほど来場し、最も混雑した初日の昼過ぎは、身動きが取れないほどの人混みでした。

## 2. 当事務所ブース

### ★出展内容

当事務所のブースでは次のような活動を展開しました。

#### (1) 各自治体提供のパンフレットの配布、ポスターの展示による日本各地域のPR

→今回はクリアロンドン事務所として初のデンマーク出展でした。デンマークでは環境問題への意識が高く、紙の使用頻度が低いことから、紙媒体資料（パンフレットやポスター）に対する反応がわからない状態で初日を迎えましたが、多くの来場者が訪れてパンフレットを手にとられ、午前中にパンフレットが無くなりました。2日目はあいにくの雨模様で客足がまばらな時間帯もありましたが、午後には天気が回復し、パンフレットは終了前にすべて無くなりました。

来場者に紙媒体資料に関する意見を伺ったところ、「日ごろから環境問題への意識は高いが、日本に関する情報収集のために来場したため、資料が紙媒体であっても特に気にしない」との声がありました。

→来場者のほとんどが英語を話されていたため、デンマーク語パンフレットへの要望は特にありませんでした。英語パンフレットによりPRが十分に可能と考えます。

→クリアロンドン事務所のスタッフ1名は、当日着物を着てブースに立ちましたが、着物姿のスタッフと記念写真を撮りたいという方もおられました。



#### (2) ノベルティの配布

→ポストカード、ボールペン、メモ帳、缶バッジ、郷土玩具キーホルダーなど、どのような形態のノベルティグッズであっても非常に人気で、瞬く間に無くなりました。特に福島県からご提供いただいた赤べこなどが人気で、渡す際に日本の伝統工芸である旨を説明すると、非常に関心を持った様子で質問をされる方が多くいらっしゃいました。

#### (3) タブレット端末を利用し自治体の観光PR動画の放映を実施

→自治体からご提供いただいた観光 PR 動画を活用し、日本の美しい風景やイベントの広報映像を放映して、日本の地方の観光地のイメージやイベント情報をお伝えするとともに、ブースの雰囲気づくりに努めました。イベントの広報映像について、関心を抱いた方が当事務所スタッフに詳細について質問する姿も見られました。

#### (4) 都道府県の英語版の観光サイト及び SNS についての QR コード表を制作して PR

→クレアロンドン事務所としては、今回のようなイベントで日本の各地方の情報・魅力に触れていただくだけでなく、イベント終了後も引き続き日本の地方に興味・関心を持っていただき、各地方の情報との接点を絶やさないようにしていただきたいと考えています。各自治体では、英語版の観光サイトや SNS 等において、日々様々な情報を発信していますので、各自治体の最新かつ魅力的な情報をイベント当日以降も来場者に継続的に閲覧していただくことを目的として、都道府県の英語版の観光サイトや、Instagram、Facebook、Youtube 等の SNS アカウントの QR コード表を制作し、できるだけ多くの来場者に閲覧・フォローしていただくよう情報提供に努めました。

→来場者の中には、この QR コード表自体を気に入っていただいて、この表を譲ってほしいという方や、写真を撮られる方が多くいらっしゃいました。

→前述のとおり、パンフレットは大変人気で、終了予定時刻より早く無くなりましたが、それ以降もこの QR コード表を活用して PR を行いました。

#### (5) 来場者の名前を書く書道パフォーマンス

→昨年の出展イベントに引き続き、来場者のお名前をひらがなとカタカナで書いて差し上げる書道パフォーマンスが大変好評で、ブース前には多くの親子連れや友人同士のグループ等の行列ができていました。行列の待ち列の壁に(8)で紹介する Instagram の QR コードを配置したところ、待ち時間を活用しフォローしてくださる方が多くいらっしゃり、効果的な広報となりました。



#### (6) 折り紙体験

→英語で折り紙の折り方を説明した紙を何種類か用意し、来場者とともに鶴や手裏剣などの折り紙を折りました。特に小さなお子さんが興味を示すことが多く、とても楽しんでいただけました。一方で、一人当たりの対応に長時間かかるうえ、スタッフも来場者も折り紙に集中するた



め会話を広げることができず、情報発信につなげるのが難しいといった課題も見出しました。今回は寿司（ネタとシャリの部分を別々に折る必要がある）などの難しい折り紙の折り方も紹介しましたが、今後は簡単な折り紙の紹介があればよいと感じました。

#### (7) 食を通じた地域魅力の発信

→昨年7月の英国でのイベント「ハイパー・ジャパン・フェスティバル」に引き続き、日本各地のご当地グルメレシピと観光情報を提供する Web ページの周知に取り組みました。レシピに対する評判は非常に高く、日本食が好きであることや見た目が美味しそうであることはもちろん、料理が好きだから、という理由でチラシを手にとられる方が多数いらっしゃいました。日本全国のご当地グルメのレシピを紹介する A4 サイズのチラシがすぐなくなったため、その後は一つのレシピを紹介する名刺サイズほどのミニチラシを使用し情報発信を行いました。ミニチラシの裏には後述する Instagram の QR コードを掲載し、ミニチラシを配る際、他のレシピについては Instagram をご覧くださいと誘導しました。

ベジタリアンやビーガンのレシピに関する質問も多く、日本のグルメを紹介する際には、ベジタリアンやビーガンにも配慮しておく必要があることを感じました。

#### (8) Instagram「@localeyesjapan」のPR

→日本の地域への関心や認知度の向上、観光誘客の促進を図る目的で、クリアロンドン事務所の Instagram アカウント「@localeyesjapan」において、自治体から寄せられた画像等を元に、ガイドブックでは知ることのできない、ローカルな情報を英語で情報発信しているほか、(7)で紹介したご当地レシピについても英語で情報発信しています。今回のイベントではそのフォロワー獲得にも努め、ひいては、日本の各地方の魅力及び日本食の魅力に今後とも触れ続けていただくよう PR を行いました。来場者のご当地レシピへの関心が非常に高かったこともあり、Instagram にも興味を抱いた方が多くいらっしゃり、2日間のイベントを通じて新規フォロワーを約 100 人獲得しました。



#### ★来場者の関心事、問い合わせ事項

- ・サクラフェスティバルではクリアロンドン事務所以外に日本への旅行情報や日本の一般情報を提供するブースがなかったこともあり、旅行情報を求めて多くの方がブースにい

らっしゃいました。中には旅行代理店と勘違いされる方も多くいらっしゃいました。

- ・ 日本旅行の計画を立てていたがコロナのため中止になったという方が多くいらっしゃいました。コロナ禍が落ち着いてきたこともあり、今年か来年など近いうちに訪れたいと考えている方や、新婚旅行として訪れる予定という方が多数いらっしゃいました。
- ・ 観光情報としては、東京・京都のほか、九州や四国に関する質問が多くありました。一週間以上の長期滞在を予定している方も多く、主要観光地以外でのおすすめの場所についての質問がよく聞かれました。
- ・ 観光情報以外では、日本企業での就職に関する情報について探している方もおられました。

以上